

「光老化」啓発プロジェクト委員会主催 第1回メディアセミナー開催のご案内

ひかりろうか ＜ 肌の光老化とは？～適切な予防法と治療の実践～ ＞

特定非営利活動法人 皮膚健康研究機構（理事長：原田昭太郎）内に設置されました光老化啓発プロジェクト委員会は、光老化に関する正しい知識と予防方法に関する啓発活動に取り組んでおります。その一環として報道関係の方を対象といたしましたセミナーを開催させていただきますので、ご案内申し上げます。

「光老化」とは、紫外線をはじめ可視光、赤外線を含む太陽光線を浴びることにより皮膚に現れる老徴であるしみ、しわ、たるみなど、皮膚における光の害の表現型です。年齢を重ねて生じる自然（生理的）な皮膚の加齢現象とは質的にも量的にも区別されます。また、光老化の延長線上には皮膚癌が存在することも重要です。さらに同様に太陽光線を浴びる眼にも光老化は発現し、白内障などの発症にも関与しています。皮膚科学研究者、皮膚科医、化粧品・製薬企業、美容関係者には光老化対策の重要性については共通の認識が存在していますが、一般市民における光老化に対する認知、理解は極めて低いと言えます。

先に実施した一般市民を対象とした調査では、光老化ということばの認知率は5%にも満たない状況であり、光老化対策において基本的かつ汎用性の高いとされるサンスクリーン剤に関して、日常的に使用しているのは女性24%、男性3%と極めて低い結果でした。さらに適正使用に重要なSPF値、PAに対する誤った理解も浮き彫りになってきました。

これら認識の低さが、太陽光線を無防備に過剰に浴びてしまい、光老化を出現、加速させています。社会一般には「光老化」の定義はまだ明確とは言えず、その用語の使い方には統一性に乏しいところがあることも否定できません。

そこで、光老化対策を通じて、健康の増進に貢献すべき皮膚科医をはじめとする医療関係者と化粧品業関係者が統一した定義のもとで、「光老化」や「SPF」の意味、光老化予防と対策の必要性を一般市民に対して科学的に信頼のおける情報を正確に伝える活動が必要と考えるに至り、光老化対策に早くから取り組んできた皮膚科医が中心になり、本プロジェクト委員会を発足しました。

その活動の一環として、当委員会ではメディア関係の方を対象とした定期的なセミナーを企画いたしました。皆様とともに、継続的により良いものになるよう努めてまいります。

つきましては、別紙の通り光老化に関するセミナーを開催いたしたくご案内申し上げます。
何卒趣旨をご理解の上、ご参加賜りたく、ここにお願ひ申し上げます。



特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構
「光老化」啓発プロジェクト委員会

東京女子医科大学皮膚科教授	川島 眞
近畿大学皮膚科教授	川田 暁
神戸大学皮膚科教授	錦織 千佳子
名古屋市立大学皮膚科教授	森田 明理
京都大学 名誉教授	宮地 良樹

「光老化」啓発プロジェクト委員会 主催
第1回メディアセミナー開催のご案内

ひかりろうか
＜肌の光老化とは？＞
～ 適切な予防法と治療の実践 ～

日時：2016年4月20日(水)14:00～15:00 / 受付開始 13:30～
場所：御茶ノ水ソラシティ・カンファレンスセンター2F「Terrace Room」

【プログラム】



■講演1：光老化に関する基本レクチャー

◇ しみ、しわ～日光角化症・皮膚がんと太陽光

東京女子医科大学 皮膚科 教授 川島 眞

■講演2：光老化予防と治療

◇ 日焼け止め・化粧品の正しい使い方(塗り方)、普段から心がけること

◇ 光老化治療の最前線、気を付けないといけない症状

銀座ケイスキンクリニック 院長 慶田 朋子

■質疑応答

第1回セミナーとして、紫外線のみならず太陽光全体が強くなるシーズンを前に、肌の光老化について正しく理解頂き、すぐに実践できる予防法について解説いたします。さらに生じてしまったしみ・しわの最新治療、気を付けておくべき皮膚症状についても言及いたします。

【会場案内】：御茶ノ水ソラシティ・カンファレンスセンター 2F 「Terrace Room」



sola city Conference Center
ソラシティ カンファレンスセンター

101-0062 かんだするがだい
東京都千代田区神田駿河台 4-6
御茶ノ水ソラシティ

JR中央線・総武線・御茶ノ水駅 聖橋口から 徒歩1分
東京メトロ千代田線・新御茶ノ水駅 B2出口・直結
東京メトロ丸の内線・御茶ノ水駅 出口1から 徒歩4分
都営地下鉄 新宿線・小川町駅 B3出口から 徒歩6分

■参加申し込み

※ご参加いただける場合は「光老化」啓発プロジェクト事務局宛に、4月10日迄に同封のFAXフォームに必要事項をご記入の上お知らせ下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

NPO 皮膚の健康研究機構・運営事務局 平松 泰成 (合同会社 EBC&M 内)

TEL:03-6435-3833 FAX:03-6745-7678 Email: hikarirouka @np-hifu.net

特定非営利活動法人皮膚の健康研究機構 概要

■名称：特定非営利活動法人皮膚の健康研究機構

設立：平成21年1月7日

■所在地：東京都千代田区内神田一丁目8番9号福田ビル2階

TEL：03-3256-2575 Fax：03-6745-7678 E-mail：info@npo-hifu.net

HP：http://www.npo-hifu.net/

特定非営利活動法人(NPO)皮膚の健康研究機構は、皮膚の健康管理・疾患治療・ケア等に関する調査・研究、臨床試験支援、さらに氾濫する誤った医学・医療情報に対する警鐘及び適正な知識の啓発、実務研修などの活動を通じ、皮膚の健康増進QOL(Quality of life)の向上を目的として平成21年に設立されました。

■組織概要・役員

理事長	原田 昭太郎	(NTT 東日本関東病院特別顧問・かやば町皮フ科 院長)
副理事長	川島 眞	(東京女子医科大学 皮膚科学教室 主任教授)
理事	芋川 玄爾	(中部大学生物機能開発研究所 客員教授)
	釜本 邦茂	(日本サッカー協会 顧問)
	白澤 卓二	(順天堂大学 大学院医学研究科 加齢制御医学講座 教授)
	鳥羽 研二	(独立行政法人国立長寿医療研究センター 理事長)
	新村 眞人	(東京慈恵会医科大学 名誉教授)
	宮地 良樹	(京都大学 名誉教授)
	吉川 敏一	(京都府立医科大学 学長)
監事	乃木田 俊辰	(新宿南口皮膚科 院長、東京医科大学皮膚科 兼任教授)

「光老化」啓発プロジェクト 概要



■活動名称：「光老化」啓発プロジェクト

主催：NPO 法人 皮膚の健康研究機構「光老化」啓発プロジェクト委員会

事務局：NPO 法人 皮膚の健康研究機構内「光老化」啓発プロジェクト事務局

「光老化」啓発プロジェクト委員会

東京女子医科大学皮膚科教授	川島 眞	(当 NPO 法人理事)
近畿大学皮膚科教授	川田 暁	
神戸大学皮膚科教授	錦織 千佳子	
名古屋市立大学皮膚科教授	森田 明理	
京都大学 名誉教授	宮地 良樹	(当 NPO 法人理事)

■「光老化」啓発プロジェクトの目的

- ・ 国民に対して、太陽光線（紫外線、可視光線、赤外線）による身体への障害（皮膚における老徴、皮膚癌、白内障など）の理解を深め、それを「光老化」と呼称することの認知度を高める。
- ・ 老徴のみならず皮膚癌予防に通じることを啓発し、国民の健康増進、医療費削減に寄与する。
- ・ 白内障他、光線による眼障害を適切に予防することの重要性を啓発する。
- ・ サンスクリーン製剤の適正使用を啓発し、日常的に使用することにより光老化を防ぐことが可能であることの理解を広める。

■後援・協賛

後援： 日本皮膚科学会、日本美容皮膚科学会、日本化粧品学会、太陽紫外線防御研究委員会、
日本コスメティック協会、日本化粧品工業連合会、
(予定) 日本臨床皮膚科医会、日本光医学・光生物学会
関係省庁（厚生労働省、文部科学省、経済産業省、環境省）、その他の団体
日本眼科学会

協賛：皮膚科・眼科関連学会、化粧品・製薬関連企業、美容関連企業、眼鏡・レンズ関連業界、
フィルム関連業界、その他の関連団体、個人を予定

■啓発対象：国民全体

男女問わず幅広い年齢層を対象とする

■実施期間：第1次 2016年3月～2017年6月（予定）

■活動経緯

2015年7月	「光老化」啓発プロジェクト委員会 発足
2015年9月～11月	関係団体への協力要請 厚生労働省、経済産業省、文部科学省への趣旨説明と協力依頼
2015年12月	関連企業への啓発プロジェクトの説明会を実施
2016年2月	啓発委員会メンバーによる啓発記事座談会開催
2016年4月	光老化啓発記事掲載（全国紙1面掲載予定）
2016年4月～	メディアミックス 皮膚科医を中心とした医療従事者、関係企業、学校保健活動・教育現場、薬局・ドラッグチェーン等を通じた「光老化」統一のワーディング・メッセージによる啓発活動

■第1次活動内容

2016年の主事業として、以下を計画しています。

- (1) 「光老化」およびその対策に関する委員会メンバーによる座談会実施と採録記事新聞掲載
※採録記事のポスター化及び関連先への配布とポスター掲示
- (2) 啓発用小冊子・ポスター作成
- (3) ホームページ開設
- (4) メディアセミナーの開催（4月、8月、11月 年3回）
- (5) 関係学会セミナー・市民公開講座開催 等

メディアセミナーテーマ（予定）

- 第1回(4月)： 肌の光老化とは？ ～ 適切な予防法と治療の実践 ～
- 第2回(8月)： 油断してはいけない秋～冬の光老化対策（仮）
- 第3回(11月)： 光老化、SPFの認知率調査結果報告（仮）

以上

【参考資料】

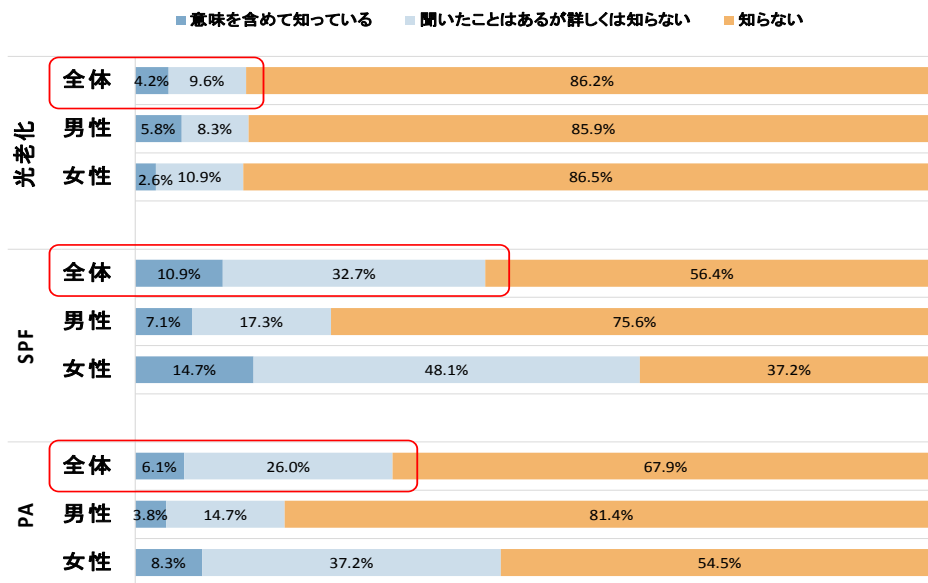
「光老化」認知率調査結果 NPO 法人皮膚の健康研究機構 調べ（2015年10月）

方法：インターネットリサーチ

対象：マクロミルモニタ会員 321名 12歳以上70歳未満の男女（男性156人、女性156人）

調査期間：2015年10月29日（木）～2015年10月31日（土）

「光老化」関連の言葉の認知率



サンスクリーンの使用について

